

日本基督教団 八ヶ岳教会 主日礼拝 NO.1189 2021年9月12日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 渡部敬子 9:30~10:30  
 ※讃美歌は二番までうたいます 第二部礼拝 司式 平尾文子 11:00~12:00

前奏	黙想	祈禱	
讃美歌	12 めぐみゆたけき主を	讃美歌	517 われにこよと主はいま
祈禱		献金	
信仰告白	使徒信条 566	讃詠	547 いまささぐるそなえものを
聖書	イザヤ書 40:9~11	黙禱	
	テサロニケの信徒への手紙一 5:9~10	主の祈り	564
讃美歌	333 主よ、われをば	頌栄	543 主イエスのめぐみよ
説教	『到来する神の国に向かって』	祝禱	後奏

歴史とは、過去から現在に至る出来事。未来を予測して備えるにしても、時間の流れは一定方向だ。聖書が語る「神の国」到来の流れは、それと異なる。時が過ぎて神の国に到達するのではない。私たちが進み行く上方から、神の国が少しずつ「此処」へ流れて来ている感じ、と云えばいいだろうか。

バビロニアに捕囚されて苦しむ民に、イザヤの預言は告げられる。「見よ、主なる神。彼は力を帯びて来られ、御腕をもって統治される。見よ、主のちか得られたものは御もとに従い、主の働きの実りは御前を進む(イザ 40:10)」。主なる神が未来からやって来られ、此処で出会う。神の「御腕」は、解放と救済のために用いられる(申命 26:8)。「働きの実り」とは「労賃(レ 19:13)」の謂で、「御前を進む民」は神が働いた報酬なのだ。すなわち「良き知らせ=福音」を告げる民は(イザ 40:9)、神が働いての報酬物に他ならない。民の側からすれば、自分たちのために神は労苦を厭わず働いて下さっている。

コロナ・パンデミックの閉塞感の中、「元の暮らしにいつ戻れるのか」という声を聞いた。元の暮らしには戻らない方がいい、と私は自答した。コロナ後の世は、底からの大きな転換が為されるのではないか。環境破壊はもうのっぴきならない所に来ていて、「主の働き」による変革を今こそ求めている。

祈り求めることは、雨乞いのような加持祈祷ではない。「主の働きの実り」である私たちが、「力を帯びて来られる主なる神(40:10)」の方向へ、一步一步誠実に向かっていくこと。「高い山に登って」、到来する神の国の福音を宣べ伝えること(40:9)。なぜならばキリスト者に限らず、人間すべてが「主のちか得られた」報酬であり、その一人ひとりのために神は働いておられるからだ。環境破壊が進み、富が偏って世の憤懣が高まり、コロナで逼迫している今こそ、救いの福音が必要とされている。

変革には恐れが伴うし、いちいち面倒くさそう。縁側で猫をなでながら茶をすすり、時を過ごすことは幸福だろうが、それも続けばかえって息苦しい。縁側で呆けることに飽きたら、立ち上がり、それから神の国に向かって遅くはない。キリスト者は世に先んじ、神の福音を告げている(40:9)。

「神は、わたしたちを怒りに定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによる救いに定められたのだ(1テロニケ 5:9)」。神の国の到来は、破壊的な怒りではない。真実が現れ、偽りは滅び、誰もがキリストの救いに定められる時なのだ。その日ために私たちは今ここで、この身に受けている救いを根拠にして、希望の福音を証ししていく。与えられた数十年かの寿命がある間だけではない。

「主は、わたしたちのために死なれたが、それは、わたしたちが目覚めていても眠っていても、主と共に生きるようになるためだ(5:10)」。数年後パウロはこう言い換えた。「生きるにしても、死ぬにしても、わたしたちは主のものなのだ(コリ 14:8)」。死んでいてもなお、私たちは十字架で主と共に在る。

神の国とか、変革とか言うと、厳しい激変だと勘違いしそうだが、そうではない。「主なる神が御腕をもって統治される(イザ 40:10)」と、「主は羊飼いとて群れを養い〜小羊をふところに抱く(40:11)」。到来する神の国は、世の民すべてのために命を捨てる羊飼いきリストの(ヨハ 10:15~16)、「ふところ」。

神の国の到来は恐ろしい 私の偽りが滅ぼされるため 私の真実は少しばかりだから痩せ細るのか  
 真実の恵みを受けた分 肉づきがよくなるのか その人らしく その人としての姿になるのだろうか

9/13(月)10:00~11:30、八ヶ岳教会による甲府聖書研究会(YMCA)。9/18(土)1:30~3:00 メディカル・カフェ。同日 10:00~12:00 はYMCA ユースの青年が田口重彦牧師のお話を聞く会。いずれも参加可。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。